

TNFD提言への対応

当社は、経営の基本的方向性の一つに「地域社会の良き企業市民として社会的責任を果たす」ことを掲げ、「沖電グループ環境方針」のもと、発電所等における環境保全対策の充実を図り、生物多様性への配慮および地域環境の保全に努めています。今般、TNFD提言v1.0に基づき、当社の自然関連の情報開示に向け、検討を進めました。

※ TNFD：自然関連財務情報開示タスクフォース (Taskforce on Nature-related Financial Disclosures)。
企業が自然資本や生物多様性に関するリスクと機会を適切に評価し、財務情報を開示するためのフレームワークを構築する国際的枠組み

TNFD 開示提言 (4本の柱)

ガバナンス

自然関連の依存、影響、リスク、機会に関する組織のガバナンスを開示

戦略

自然関連の依存、影響、リスク、機会が組織の事業、戦略、財務計画に与える影響が重要である場合に開示

リスクと影響の管理

組織が自然関連の依存、影響、リスク、機会を特定し、評価し、優先付けし、監視するために使用するプロセスを記載

指標と目標

自然関連の依存、影響、リスク、機会を評価し、管理するために使用される測定指標と目標を開示

はじめに

TNFD 提言に基づく情報開示にあたっては、4つのフェーズで構成された「LEAP アプローチ」の一連のプロセスに沿って、自然との接点の特定、依存・影響の関係、リスクと機会を段階的に評価し、開示を目指しています。

今回は、「ガバナンス」、「戦略」部分の開示に向け、事業活動における自然資本への依存・影響関係について評価を行いました。

(Locate フェーズと Evaluate フェーズ)

ガバナンス

当社では、環境に配慮した事業活動を展開するため、社長を委員長とする「環境委員会」と委員会の下部機関として「環境管理者会議」を設置し、自然関連課題を含む環境全般の取り組みを検討・推進しています。(詳細については、P67「環境管理の充実」をご覧ください。)



一分析対象範囲・手法一

- 【事業対象】 主要事業である発電事業を対象とします。
- 【事業拠点】 沖縄本島内の発電所7拠点 (5火力発電所、大宜味風力、安部太陽光)
- 【手 法】 グローバルデータに基づく評価ツールであるENCORE等を活用し、各拠点における事業活動の特性ならびに周辺地域の実態に応じた評価を行いました。
なお、ツールによる分析結果に加え、当社の事業特性をよりの確に反映させるために、自社分析を実施することにより、当社にとって重要な自然との関わりを考察しています。

戦略 ー依存・影響項目の分析、評価ー

事業活動が自然資本にどれだけ依存し影響を与えているかについて、ENCORE分析ツールを活用し、発電事業を対象とした分析・評価を行いました。さらに、ENCORE分析結果を参考にしつつ、当社の発電所の運用実態等に鑑みた評価を実施しました。評価結果は以下の表1、表2の通りです。

- 火力発電において、冷却水は主に海水を使用していることおよび水リスクの低い地域であることから、「水の供給」や「水流の調整」への依存は低いと評価しています。また、気候による影響を受けにくいため、「気候調整」への依存も低いと評価しています。
- 風力発電、太陽光発電では、それぞれ風、日照という気候要素を活用する発電であるため、それら気候要素を調整する「気候調整」に非常に大きく依存していると評価しています。
- 火力発電について、脱硫・脱硝装置や電気式集じん装置、排水処理設備の設置等、適切な環境保全対策を実施しており、また、排出状況のモニタリングの実施など、さまざまな環境配慮に努めていることから、「気候変動(GHGの排出)」以外の項目については自然への影響は低いものと評価しています。
- 風力発電では、既存の開発地への建設であることから「土地利用(陸域)」について影響は低いものと評価しました。また、風力、太陽光発電では水使用が無いため「水の使用量」について「ー」(関連性無し)と評価しています。
- 今回の分析においては、火力発電(石炭)について、CO₂排出原単位が高いこと、および発電電力量が多いことをふまえ、「気候変動(GHGの排出)」への影響が非常に高いと評価しました。当社では、火力発電におけるGHGの排出量を削減するために、CO₂排出原単位の低いLNGの利用拡大や、石炭火力において県内で発生した建築廃材等を活用したバイオマス混焼を進めています。

表1. 当社における自然への「依存」

発電種別		依 存							
		供給サービス	調節・維持サービス						
		水の供給	地球規模の気候調整	地域の気候調整	土壌や堆積物の保持	固形廃棄物の処理	水の浄化	水流の調整	洪水の軽減
火力発電	重油	L	VL	VL	L	L	L	L	M
	石炭	L	VL	VL	L	L	L	L	M
	LNG	L	VL	VL	L	L	L	L	M
風力発電		—	VH	M	L	—	—	—	—
太陽光発電		—	VH	M	L	—	—	—	—

表2. 当社における自然への「影響」

発電種別		影 響							
		土地の利用面積		資源利用	気候変動	汚 染			その他
		陸域	淡水域	水の使用量	GHGの排出	非GHG大気汚染物質の排出	土壌・水質汚染物質の排出	固形廃棄物の排出	騒音、光などの環境へのかく乱
火力発電	重油	L	L	L	M	L	L	L	L
	石炭	L	L	L	VH	L	L	L	L
	LNG	L	L	L	M	L	L	L	L
風力発電		L	—	—	—	—	VL	VL	M
太陽光発電		L	—	—	—	—	VL	VL	VL

[参考] ENCOREにおける自然への「依存」

発電種別		依 存							
		供給サービス	調節・維持サービス						
		水の供給	地球規模の気候調整	地域の気候調整	土壌や堆積物の保持	固形廃棄物の処理	水の浄化	水流の調整	洪水の軽減
火力発電		H	M	L	M	M	M	H	M
風力発電		VL	VH	M	M	—	—	M	H
太陽光発電		M	VH	M	M	—	—	M	M

[参考] ENCOREにおける自然への「影響」

発電種別		影 響							
		土地の利用面積		資源利用	気候変動	汚 染			その他
		陸域	淡水域	水の使用量	GHGの排出	非GHG大気汚染物質の排出	土壌・水質汚染物質の排出	固形廃棄物の排出	騒音、光などの環境へのかく乱
火力発電		M	M	M	VH	VH	VH	H	VH
風力発電		H	—	L	—	—	VL	VL	M
太陽光発電		L	—	L	—	—	VL	VL	VL

VH	…Very High (非常に大きい)	L	…Low (小さい)
H	…High (大きい)	VL	…Very Low (非常に小さい)
M	…Medium (中程度)	—	…関連性なし

今後は、特定した依存・影響の関係性をもとに自然関連リスクと機会を特定・評価するなど、段階的に開示範囲を広げていけるよう取り組んでまいります。